

施策評価調書(30年度実績)

政策体系	施策名	芸術文化ゾーンを核としたネットワークづくり	所管部局名	企画振興部	施策コード	Ⅲ-2-(2)
	政策名	芸術文化による創造県おおいたの推進	関係部局名	企画振興部、教育庁	長期総合計画頁	151

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	芸術文化ゾーンを核とした取り組み	芸術文化の創造性を生かした行政課題への対応	創造性を生かした地域づくりの推進

【Ⅱ. 目標指標】

i	指 標	関連する取組No.	基準値		30年度		元年度	6年度	目標達成度(%)					
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125
	子どもたちが芸術文化に触れる機会(児童生徒数)(人)	①②③	H26	11,896	12,376	17,895	144.6%	12,500	13,100					

【Ⅲ. 指標による評価】

i	評価	理 由 等	平均評価
	達成	県立美術館の教育普及事業、NPO法人大分県芸術文化振興会議の文化キャラバン、公益財団法人アルゲリッチ芸術文化振興財団が実施するピノキオコンサート等による芸術家のアウトリーチ活動を実施した結果、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭の開催効果もあり、目標値を大幅に達成した。	達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・県立美術館において、初めての試みとして科学博物関連の「海と宙の未来展」を開催し好評を博した。また、芸術文化ゾーンにて『CREATIVE PLATFORM OITA 報告会』を開催。展示ブースでは出展企業18社が各自の協働事業の成果やプロセスの発表展示を行った。
②	・全国障害者芸術・文化祭では、県内全ての市町村で障がい者アート事業を実施し、身近な地域で作品発表や鑑賞の機会を創出し、多くの障がい者が芸術文化活動に参加した。 ・障がい者アートを活用した商品化について、全国の先進事例を実践者から直接説明を受けるなど、知見を共有することができた。 ・文化庁所属高校生による小学生向け文化体験講座を開催し、子どもたちが芸術文化に触れる機会を創出した。(参加者425人)
③	・別府にて、世界的な彫刻家であるアニッシュ・カプーア氏の個展を開催し、国内外に情報発信を行うことができた。 ・日田にて、水害からの復興を支援するため、日田の大自然を背景にしたメディアアートのイベントを開催した。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(30年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	元年度の方向性	
①	芸術文化ゾーン拠点創出事業	90,000	A	継続・見直し	29
①③	芸術文化を活用した復興支援事業	25,950	A	終了	31
②	全国障害者芸術・文化祭開催事業	124,724	A	終了	248
②③	創造県おおいた推進事業	138,751	A	終了	30

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第10回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H31.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭等の開催により、創造活動への参加の喜び等を県民は感じたところ。 ・これを機に、次年度以降も引き続き、障がい者や子どもも含め、そのような活動に取り組めるようにしてほしい。 	
---	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・大分県立美術館とiichiko総合文化センターを芸術文化ゾーンとして、県内各地の様々な取組との連携を深め、ネットワークの構築を図るとともに、芸術文化の創造性を活用した教育、産業、福祉分野の取組を進める。 ・文化体験講座の参加対象を拡大し、より多くの子どもたちが芸術文化に触れる機会の充実を図る。 ・全国障害者芸術・文化祭の開催を契機とした障がい者の芸術文化活動を発展させる体制整備を図るため、「おおいた障がい者芸術文化支援センター(仮称)」を設置し、福祉事業所等への相談支援や人材育成、発表・鑑賞の機会を提供する。